

日商簿記1級
講師が選んだ過去問題集

答案用紙

問1

(単位：千円)

①	②	③	④

問2

損益計算書

(単位：千円)

I	営業収益	
1	商品売上高 ()	
2	受取手数料 ()	()
II	営業費用	
1	商品売上原価 ()	
2	販売費	30,000
3	貸倒引当金繰入 ()	
4	給料手当	25,000
5	退職給付費用 ()	
6	一般管理費	20,000
7	支払リース料 ()	
8	減価償却費 ()	()
	営業利益	()
III	営業外収益	
1	有価証券利息 ()	
2	受取配当金 ()	()
IV	営業外費用	
1	支払利息 ()	
2	社債利息 ()	()
	経常利益	()
V	特別利益	
1	投資有価証券売却益	()
	税引前当期純利益	()
	法人税、住民税及び事業税 ()	
	法人税等調整額 ()	()
	当期純利益	()

問3

(単位：千円)

a.	b.	c.	d.
e.	f.	g.	

第1問

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	

第2問

(a)	(b)	(c)	(d)
(e)	(f)	(g)	(h)
(i)	(j)	(k)	

第3問

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：千円)

I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
営業収入	()
商品の仕入による支出	()
人件費の	()
その他の	()
小計	()
() 受取額	()
利息の	()
法人税等の	()
営業活動によるキャッシュ・フロー	()
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の	()
()	()
投資活動によるキャッシュ・フロー	()
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
() 収入(純額)	()
配当金の支払額	()
非支配株主への配当金支払額	()
財務活動によるキャッシュ・フロー	()
IV 現金及び現金同等物の増加額	()
V 現金及び現金同等物の期首残高	()
VI 現金及び現金同等物の期末残高	90,500

決算整理後残高試算表

X 6年3月31日

(単位：千円)

現金預金 ()	支払手形 48,680
受取手形 51,320	買掛金 ()
売掛金 62,680	短期借入金 ()
売買目的有価証券 ()	貸倒引当金 ()
繰越商品 ()	未払費用 ()
未着品 ()	建物減価償却累計額 ()
未収入金 ()	構築物減価償却累計額 ()
前払費用 ()	資産除去債務 ()
建物 2,500,000	資本金 ()
構築物 ()	資本準備金 ()
土地 ()	利益準備金 ()
() ()	任意積立金 45,000
その他有価証券 ()	圧縮積立金 ()
貸倒懸念債権 ()	繰越利益剰余金 ()
仕入 ()	() ()
棚卸減耗損 ()	一般売上 ()
販売費 ()	未着品売上 ()
一般管理費 ()	受取利息 ()
減価償却費 ()	有価証券運用益 ()
利息費用 ()	有価証券利息 ()
貸倒引当金繰入 ()	受取配当金 ()
為替差損益 ()	投資有価証券売却益 ()
売上割引 ()	
貸倒損失 ()	
()	()

第1問

語群A	1	2	3	4	5
語群B					

第2問

状況1

記号	空欄の金額

状況2

記号	空欄の金額

状況3

記号	空欄の金額

状況4

記号	空欄の金額

状況5

記号	空欄の金額

第3問

問1

損益計算書

(単位：千円)

売上高		
商品売上高	()	
役員収益	()	()
売上原価		
商品売上原価	()	
役員原価	()	()
売上総利益		()
販売費及び一般管理費		
販売費	()	
給料手当	()	
退職給付費用	()	
貸倒引当金繰入額	()	
一般管理費	()	
減価償却費	()	
ソフトウェア償却額	()	()
営業利益		()
営業外収益		
受取配当金		()
営業外費用		
社債利息		()
経常利益		()
特別利益		
投資有価証券売却益		()
特別損失		
投資有価証券評価損		()
税引前当期純利益		()
法人税、住民税及び事業税	()	
法人税等調整額	()	()
当期純利益		()

問2

(単位：千円)

①	②	③	④

第1問

イ		ロ	
ハ		ニ	
ホ			

第2問

問 備品A～Dについて、次の①～⑤の各項目の金額を求めなさい。なお、該当する金額がない場合、またはゼロの場合は、解答欄に「－」を記入すること。

- ① 日本商工株式会社の損益計算書において20X8年度に計上される支払リース料
- ② 日本商工株式会社の20X8年度における減価償却費
- ③ 日本商工株式会社の20X8年度における支払利息
- ④ 日本商工株式会社の20X8年度末のリース資産の帳簿価額
- ⑤ 日本商工株式会社の20X8年度末のリース債務（未払利息を除く）の残高

備品	①	②	③	④	⑤
A	千円	千円	千円	千円	千円
B	千円	千円	千円	千円	千円
C	千円	千円	千円	千円	千円
D	千円	千円	千円	千円	千円

第3問

問 次の各項目の金額を求めなさい。

- ① A社株式取得時におけるA社株式取得額に含まれるのれんの金額
- ② 20X8年3月末の連結貸借対照表に計上されるA社株式の金額
- ③ 20X7年度の連結損益計算書に計上される持分法による投資損益の金額
(解答欄の借または貸のいずれかに○を付すこと)
- ④ 20X9年3月末の連結貸借対照表に計上されるB社株式の金額
- ⑤ 20X8年度において、[資料Ⅱ]の3.に関連してP社とA社との取引により売上高に加減する金額
(解答欄の借または貸のいずれかに○を付すこと)

①	千円	②	千円
③	借・貸	④	千円
⑤	借・貸		千円

第1問

貸借対照表
純資産の部

(単位：千円)

株主資本		
資本金	()	
資本準備金	()	
その他資本剰余金	()	()
利益準備金	()	
固定資産圧縮積立金	()	
別途積立金	()	
繰越利益剰余金	()	()
自己株式	()	
株主資本合計	()	
新株予約権	()	
純資産合計	()	

第2問

連結損益計算書

(単位：千円)

費用	金額	収益	金額
売上原価		売上高	
役員原価		役員収益	
広告宣伝費		受取配当金	
減価償却費		受取利息	
のれん償却額		固定資産売却益	
支払手数料		()	
その他の営業費用			
支払利息			
非支配株主に帰属する当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益			

第1問

ア	イ	ウ	エ	オ

第2問

(1) 満期保有目的債券	千円
(2) 子会社株式	千円
(3) 関連会社株式	千円
(4) その他有価証券	千円
(5) その他有価証券評価差額金（借方残高の場合は金額の前に△を付すこと）	千円
(6) 繰延ヘッジ損益（借方残高の場合は金額の前に△を付すこと）	千円

第3問

	I 欄 下線部の語句の記号	II 欄 正しいと思われる語句または文章
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

問1 次の取引の仕訳を示しなさい。

- (1) 3月2日の外部への商品販売に関する本店の仕訳を示しなさい。
- (2) 本店が関西支店の当期の損益を総合損益勘定へ振り替えたときの仕訳を示しなさい。

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				

問2 LA支店決算整理後残高試算表(円換算後)における、次の各項目の金額を求めなさい。

(単位：千円)

売掛金	売上原価	貸倒引当金繰入	本店

問3 日商株式会社の決算整理後合併残高試算表(内部利益控除後)を完成しなさい。

決算整理後合併残高試算表

20X7年3月31日

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金		買掛金	
売掛金		貸倒引当金	
商品		未払費用	
前払費用		建物減価償却累計額	
建物		備品減価償却累計額	
備品		リース資産減価償却累計額	
リース資産		リース債務	
土地		長期前受収益	
貸倒懸念債権		資本金	
売上原価		資本準備金	
営業費用		利益準備金	
棚卸減耗費		繰越利益剰余金	
商品評価損		売上	
貸倒引当金繰入		受取利息	
減価償却費			
支払利息			
()			

第1問

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

第2問

問1 前期末における繰延税金資産の金額（純額）： _____ 千円

当期末における繰延税金資産の金額（純額）： _____ 千円

問2

	<u>損益計算書（一部）</u>	（単位：千円）
税引前当期純利益		80,000
法人税・住民税・事業税	()	
法人税等調整額	()	()
当期純利益	<u> </u>	<u> </u>

問3

	<u>連結損益計算書</u>	
	自X3年1月1日 至X3年12月31日	（単位：千円）
売上高	()	
売上原価	()	
売上総利益	<u> </u>	
販売費及び一般管理費		
販売費	()	
一般管理費	()	
のれん償却	()	()
営業利益	<u> </u>	()
営業外収益		
受取配当金	()	
営業外費用		
支払利息	()	
税金等調整前当期純利益	<u> </u>	()
法人税等	()	
法人税等調整額	()	()
当期純利益	<u> </u>	()
非支配株主に帰属する当期純利益	<u> </u>	()
親会社株主に帰属する当期純利益	<u> </u>	<u> </u>

問1

(単位：千円)

a		d	
b		e	
c			

問2

連結貸借対照表

X 2年度末

(単位：千円)

現金預金 ()	仕入債務 ()
売上債権 ()	借入金 ()
棚卸資産 ()	資本金 ()
有形固定資産 ()	資本剰余金 ()
のれん ()	利益剰余金 ()
その他有価証券 ()	その他有価証券評価差額金 ()
	() ()
	() ()
()	()

問3

千円

第1問

1	
2	
3	
4	
5	

第2問

設問1 千円

設問2 千円

連結貸借対照表

P社 20X1年3月31日 (単位：千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
諸 資 産		諸 負 債	
甲 事 業 資 産		甲 事 業 負 債	
()		資 本 金	
		資 本 剰 余 金	
		利 益 剰 余 金	
		()	

第3問

問1 A社の個別財務諸表におけるC社株式の金額： _____ 千円

B社の個別財務諸表におけるC社株式の金額： _____ 千円

問2

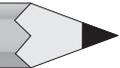
C社の開始貸借対照表

(単位：千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
諸 資 産		諸 負 債	
の れ ん		株 主 資 本	

問3 A社の連結財務諸表におけるC社株式の金額： _____ 千円

B社の連結財務諸表におけるC社株式の金額： _____ 千円



連結貸借対照表

20X5年3月31日現在

(単位：千円)

	資産の部	
流動資産		
現金預金	28,500	
受取手形	()	
売掛金	()	
棚卸資産	()	
営業外受取手形	()	()
固定資産		
有形固定資産	()	
()	()	
その他有価証券	()	()
資産合計		()
	負債の部	
流動負債		
支払手形	()	
買掛金	()	
短期借入金	()	()
固定負債		
長期借入金	()	()
負債合計		()
	純資産の部	
株主資本		
資本金	()	
資本剰余金	()	
利益剰余金	()	
その他の包括利益累計額	()	()
()	()	
純資産合計		()
負債・純資産合計		()

連結損益計算書

自20X4年4月1日 至20X5年3月31日

(単位：千円)

売上高	()
売上原価	()
売上総利益	()
販売費及び一般管理費	
販売費	5,000
一般管理費	()
()	()
営業利益	()
営業外収益	()
営業外費用	()
税金等調整前当期純利益	()
法人税・住民税・事業税	3,200
当期純利益	()
非支配株主に帰属する当期純利益	()
親会社株主に帰属する当期純利益	()

連結包括利益計算書

自20X4年4月1日 至20X5年3月31日

(単位：千円)

当期純利益	()
その他の包括利益	()
包括利益	()
親会社株主に係る包括利益	()
非支配株主に係る包括利益	()

連結株主資本等変動計算書

自20X4年4月1日 至20X5年3月31日

(単位：千円)

利益剰余金当期首残高	()
親会社株主に帰属する当期純利益	()
配当金	()
利益剰余金当期末残高	()

第1問

(イ)		(ロ)	
(ハ)		(ニ)	
(ホ)			

第2問

問 次の各項目の金額を求めなさい。

①退職給付費用 ②退職給付引当金 ③法人税等調整額

④連結貸借対照表における退職給付に係る負債

⑤連結包括利益計算書における退職給付に係る調整額 (税効果の金額控除後)

①	千円	②	千円	③	千円
④	千円	⑤	千円		

第3問

問1 合併直前の甲社の諸資産の帳簿価額を求めなさい。

千円

問2 合併時に事業Bに配分されるのれんの金額を求めなさい。

千円

問3 20X8年3月31日の決算にあたってのれん配分前の事業Aを構成する資産から生じる減損損失を求めなさい。

千円

問4 20X8年3月31日の決算にあたってのれんを含むより大きな単位で事業Aに生じる減損損失を求めなさい。

千円

問5 20X8年3月31日における減損損失控除後ののれんの帳簿価額を求めなさい。

千円

問1

(単位：千円)

①	②	③	④	⑤

問2

損 益 計 算 書

自2X18年4月1日 至2X19年3月31日 (単位：千円)

I 売上高		
1 一般売上高	()	
2 小売売上高	()	()
II 売上原価		
1 期首商品棚卸高	()	
2 当期商品仕入高	()	
合計	()	
3 他勘定振替高	()	
4 期末商品棚卸高	()	()
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費		
1 販売費	()	
2 一般管理費	()	
3 貸倒引当金繰入	()	
4 減価償却費	()	
5 退職給付費用	()	()
営業利益		()
IV 営業外収益		
1 受取配当金	()	
2 受取利息	()	()
V 営業外費用		
1 貸倒引当金繰入	()	
2 支払利息	()	
3 社債利息	()	()
経常利益		()
VI 特別利益		
1 固定資産売却益		()
VII 特別損失		
1 ()		()
税引前当期純利益		()
法人税、住民税及び事業税		()
当期純利益		()

問3

(単位：千円)

建物の帳簿価額	社 債	リース債務	資本準備金	繰越利益剰余金

第1問

(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)

(ホ)	(ヘ)	(ト)	(チ)

(リ)	(ヌ)	(ル)

第2問

問1

連結貸借対照表

20X3 年度末現在

(単位：千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金預金		買掛金	
売掛金		長期借入金	
棚卸資産		資本金	
有形固定資産		資本剰余金	
のれん		利益剰余金	
投資有価証券		その他の包括利益累計額	
		非支配株主持分	

問2

親会社株主に帰属する当期純利益	包括利益
千円	千円

		金額
(1)	原料B当月購入単価	千円
(2)	原料A当月消費額	千円
(3)	第1工程加工費配賦額	千円
(4)	第2工程加工費實際発生額	千円
(5)	第1工程完成品原価(原料費)	千円
	第1工程完成品原価(加工費)	千円
(6)	第2工程月初仕掛品原価(前工程費)	千円
	第2工程月初仕掛品原価(加工費)	千円
(7)	第2工程完成品原価(原料費)	千円
	第2工程完成品原価(加工費)	千円

問1

問2

製品Xの生産量 = 個製品Yの生産量 = 個

問3

(1) 製品Xの生産量 = 個製品Yの生産量 = 個(2) 低価格の材料を使用した方が、しない場合に比べて、 円だけ

{ 有利である。
不利である。

(いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

問4

(1) 臨時の注文200個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、 円だけ

{ 有利である。
不利である。

(いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

(2) 臨時の注文300個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、 円だけ

{ 有利である。
不利である。

(いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

第1問

問1

_____ 円

問2

(1) _____ 円

(2) _____ 円 (借方 ・ 貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問3

(1) _____ 円

(2) _____ 円/ロット

(3) _____ 円 (借方 ・ 貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問4

(1) _____ 円

(2) _____ 円

問5

(1) _____ 円 (借方 ・ 貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

(2) _____ 円 (借方 ・ 貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問6

第2問

①	仕 損 費	予 定 配 賦 額	加 工 費	異 常 仕 損 費	原 価 差 異
②	材 料 受 入 価 格 差 異	異 常 仕 損 費	非 原 価 項 目	処 分 価 額	操 業 度 差 異
③	完 成 品	売 上 原 価	営 業 外 費 用	材 料 消 費 高	良 品
④	科 目 別	指 図 書 別	組 別	等 級 別	部 門 別

問1

①	工 程 管 理	検 査	補 修
②	連 産 品	副 産 物	仕 損 品
③	補 修		修 理
④	補 修		修 理
⑤			(万円)
⑥			(%)

問2

⑦	意 思 決 定	業 績 評 価	予 算 管 理
⑧	原 価 差 異 分 析	差 額 原 価 収 益 分 析	C V P 分 析
⑨			(万円)
⑩			(万円)
⑪			(万円)
⑫			(万円)
⑬	第 1 案		第 2 案
⑭			(万円)

問1

素 材 x	円	(借方 、 貸方)
半製品 x - 2	円	(借方 、 貸方)
半製品 x - 3	円	(借方 、 貸方)

問2

第1加工工程	円	(借方 、 貸方)
第2加工工程	円	(借方 、 貸方)
仕 上 工 程	円	(借方 、 貸方)

問3

仕 掛 品		(単位：円)
月初仕掛品 ()	製 品 ()	
素 材 ()	月末仕掛品 ()	
直接労務費 ()	外注先負担分 ()	
直 接 経 費 ()	原 価 差 異 ()	
製造間接費 ()		
()	()	

(注) 下記の 内に計算結果を記入しなさい。問3、問4では、内製、購入のうち、該当する文字または文章を○で囲み、不要の文字または文章を消しなさい。また問4の [] 内には適切な番号を記入しなさい。

問1 第5製造部の製造間接費の原価分解

(1) 製品1台当たりの変動製造間接費 = 万円

(2) 月間の固定製造間接費 = 万円

問2 第5製造部長の6か月間の給料総額 = 万円

問3

(1) 次期6ヵ月間の生産量が 台より多ければ、
 { 内製 } が有利である。
 { 購入 }
 { 内製・購入のどちらでもよい。}

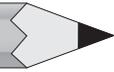
(2) 次期6ヵ月間の生産量が 台より少なければ、
 { 内製 } が有利である。
 { 購入 }
 { 内製・購入のどちらでもよい。}

(3) 次期6ヵ月間の生産量が 台に等しければ、
 { 内製 } が有利である。
 { 購入 }
 { 内製・購入のどちらでもよい。}

問4

(1) 外部倉庫の賃借料節約額は、内製というコース選択にとっては [] であるといえる。

(2) 次期6ヵ月間の生産量が 台より多ければ、
 { 内製 } が有利である。
 { 購入 }
 { 内製・購入のどちらでもよい。}



問1

(ア)	
(イ)	
(ウ)	
(エ)	
(オ)	

問2

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

①		⑪	千円
②		⑫	千円
③		⑬	
④	千円	⑭	
⑤	千円	⑮	千円
⑥	千円	⑯	
⑦		⑰	千円
⑧		⑱	
⑨		⑲	
⑩		⑳	

問1

- ① 材料仕入高 _____ 円
- ② 直接材料費 _____ 円
- ③ 製造間接費 _____ 円
- ④ 製品完成高 _____ 円
- ⑤ 売上原価 _____ 円
- ⑥ 在庫金利 _____ 円
- ⑦ 営業利益 _____ 円
- ⑧ 売上高営業利益率 _____ %

問2

- ① 設計 適合性 安全 (いずれかを○で囲みなさい)

- ② _____ 円
- ③ 予防 評価 失敗 (いずれかを○で囲みなさい)

- ④ 標準 実際 機会 支出 (いずれかを○で囲みなさい)

問3

- ㍿ _____
- ① _____
- ㍿ _____
- ㍿ _____

問1 各代替案の税引前キャッシュ・フロー

(単位：万円)

	第0年度末	第1年度末	第2年度末	第3年度末	第4年度末
甲案					
乙案					

(注) キャッシュ・フローがマイナス(現金支出)の場合は、数字を括弧で括りなさい。

問2 各代替案の税引後キャッシュ・フロー

(単位：万円)

	第0年度末	第1年度末	第2年度末	第3年度末	第4年度末
甲案					
乙案					

(注) キャッシュ・フローがマイナス(現金支出)の場合は、数字を括弧で括りなさい。

問3

(単位：万円)

	甲案	乙案	差額(甲案-乙案)
正味現在価値			

(注) 正味現在価値がマイナスの場合は、数字を括弧で括りなさい。

したがって、新設備を導入する方が(有利、不利)である。

(二重線を引いて不要の文字を消しなさい。)

問1

_____ 円/個

問2

(1)		kg
(2)		時間

問3

①	
②	
③	

問4

月次損益		(単位：円)	
売上原価 ()	売上高		7,000,000
営業費 ()			
営業利益 ()			
			7,000,000

問5

月次損益		(単位：円)	
売上原価 ()	売上高		11,200,000
営業費 ()			
営業利益 ()			
	11,200,000		11,200,000
内部利益控除 ()	本社営業利益 ()		
全社の営業利益 ()	工場営業利益 ()		
()	()		

第1問

問1 円

問2 円

問3 円 / kg

問4

①	
②	
③	
④	

問5

①		(円 / kg)
②		(円)
③	価値移転 未来原価回避能力 負担力主義 未来収益獲得能力	
④	差額 標準 平均 実際	
⑤		(円)
⑥		(円)
⑦		(円)

第2問

①		(%)
②		(千円)
③		(%)
④		(千円)
⑤	X社 Y社	
⑥	高い 低い	

問1

材料仕入高 () 円

材料消費高 () 円

問2

正常仕損費 () 円

問3

- ① (活動基準原価計算 直接原価計算 標準原価計算)
- ② (資源ドライバー 活動ドライバー 資源の流れ 活動の流れ)
- ③ (資源ドライバー 活動ドライバー 資源の流れ 活動の流れ)
- ④ (原価要素 原価部門 原価計算対象 活動)
- ⑤ (コスト・センター コスト・ビヘイビア コスト・ドライバー コストの流れ)

問4

- ① _____ 個
- ② _____ 個
- ③ _____ 個
- ④ _____ 個
- ⑤ _____ 円
- ⑥ _____ 円
- ⑦ _____ 円
- ⑧ _____ 円

問1 予算貢献利益 () 円

 予算営業利益 () 円

問2 予算現金残高 () 円

問3 所要借入額 () 円

問4 予算経常利益 () 円

問5 ① () %

 ② () %

 ③ () %

 ④ ()

 ⑤ () 円

 ⑥ () g

 ⑦ () 円

 ⑧ () 円

問1

借方科目	金額	貸方科目	金額

問2

仕掛直接材料費

前月繰越	()	製品	()
当月消費高	()	次月繰越	()
	()		()

問3 製造間接費予定配賦額 () 円

製造間接費配賦差異 () 円

< 借方差異 貸方差異 差異はゼロ >

注：< >内はいずれかを○で囲みなさい。

問4 販売費予定配賦額 () 円

販売費配賦差異 () 円

< 借方差異 貸方差異 差異はゼロ >

注：< >内はいずれかを○で囲みなさい。

問5 売上総利益 () 円

営業利益 () 円

第1問

問1 _____ 円/個

問2 _____ 円

問3

利益差異分析表

	製品		(単位：円)
	製品X	製品Y	合計
予算営業利益			1,000,000
販売活動差異			
販売量差異	()	()	()
販売価格差異	- 100,000	- 25,000	- 125,000
変動販売費差異	5,000	()	()
製造活動差異			
直接材料価格差異	()	()	()
直接材料消費量差異	- 10,000	18,000	8,000
加工費予算差異	()	()	9,500
加工費能率差異	()	()	- 3,500
実際営業利益			()

(注) 不利差異の場合のみ数字の前に「-」をつける。

第2問

①				億円
②				億円
③				億円
④				億円
⑤				億円
⑥	6.8%	7.0%	7.5%	8.2%
⑦	損益分岐点比率	内部利益率	年金現価係数	経営レバレッジ係数

貸借対照表

X 5年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産		I 流動負債	
現金及び預金	()	買掛金	()
受取手形	()	短期借入金	38,300
[]	()	未払金	()
売掛金	()	未払費用	33,792
商品	()	未払法人税等	()
前払費用	14,893	未払消費税等	()
貸倒引当金	()	前受金	17,072
II 固定資産		II 固定負債	
有形固定資産		長期借入金	710,000
建物	64,638	退職給付引当金	()
構築物	6,606	負債合計	()
備品	4,056	純 資 産 の 部	
土地	()	I 株主資本	
無形固定資産		資本金	260,000
ソフトウェア	()	資本剰余金	
[]	()	資本準備金	200,000
投資その他の資産		利益剰余金	
投資有価証券	()	利益準備金	30,852
関係会社株式	()	その他利益剰余金	
繰延税金資産	()	繰越利益剰余金	()
		[]	()
		II 評価・換算差額等	
		その他有価証券評価差額金	()
		純資産合計	()
資産合計	()	負債及び純資産合計	()

損益計算書

自 X4年4月1日
至 X5年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		2,615,894
売 上 原 価		()
売 上 総 利 益		()
販売費及び一般管理費		()
営 業 利 益		()
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	184	
雑 収 入	()	()
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	13,205	
雑 損 失	()	()
経 常 利 益		()
特 別 損 失		
[]	()	
[]	()	()
税引前当期純利益		()
法人税、住民税及び事業税	()	
法人税等調整額	()	()
当 期 純 利 益		()

販売費及び一般管理費の明細

(単位：千円)

科 目	金 額
報 酬 及 び 手 当	348,775
退 職 給 付 費 用	()
広 告 宣 伝 費	()
貸倒引当金繰入額	()
旅 費 交 通 費	()
租 税 公 課	()
減 価 償 却 費	4,809
ソフトウェア償却	()
そ の 他	115,650
合 計	()

答案
用紙

税
理
士

会
計
士

第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

決算整理後残高試算表

(単位：千円)

借 方		貸 方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金		支払手形	4,500
当座預金(X銀行)		買掛金	
外貨預金		未払法人税等	
受取手形		未払消費税等	
売掛金		その他流動負債	256
繰越商品		貸倒引当金	
貯蔵品		資産除去債務	
オプション資産		繰延税金負債	
為替予約		資本金	30,000
その他流動資産	3,136	繰越利益剰余金	91,444
建物附属設備		その他有価証券評価差額金	
機械装置		繰延ヘッジ損益	
器具備品		売上	
土地	69,436	受取利息	50
投資有価証券		為替差損益	
繰延税金資産		貸倒引当金戻入	
仕入		雑収入	
棚卸減耗損		投資有価証券売却益	
商品評価損		法人税等調整額	
給料	80,300		
租税公課			
通信費			
旅費交通費			
利息費用			
減価償却費			
その他営業費用	6,274		
雑損失			
固定資産除却損			
投資有価証券売却損			
法人税等			
合計		合計	

問1 X2年度末

- ① P社の連結貸借対照表上のA社株式 百万円
- ② ①のA社株式に含まれているのれん 百万円
- ③ B社株式に含まれているのれん 百万円

問2 X3年度末

- ① 連結修正仕訳においてA社の資本と相殺されるP社のA社株式に対する投資 百万円
- ② 段階取得に係る差益 百万円
- ③ P社の連結貸借対照表上のA社に係るのれん 百万円
- ④ A社に係る非支配株主持分 百万円
- ⑤ B社に係る非支配株主持分 百万円
- ⑥ P社の連結貸借対照表上の為替換算調整勘定 百万円

問3

(単位：百万円)

(借)	非支配株主持分当期変動額 ()	(貸)	B社株式 ()
	() 当期変動額 ()		

問 1

貸借対照表

(単位：千円)

現金預金	961,000	未払法人税等	()
製品	()	長期借入金	2,000,000
商品	()	退職給付引当金	()
仕掛品	()	企業結合に係る特定勘定	()
A事業部資産	()	A事業部資産減価償却累計額	()
B事業部資産	()	B事業部資産減価償却累計額	()
C事業部資産	()	C事業部資産減価償却累計額	()
共用資産	()	共用資産減価償却累計額	()
のれん	()	資本金	1,000,000
投資有価証券	()	資本準備金	540,000
繰延税金資産	()	利益準備金	150,000
		繰越利益剰余金	()
		その他有価証券評価差額金	()
	()		()

損益計算書

(単位：千円)

期首製品棚卸高	40,000	A事業部売上高	1,800,000
期首商品棚卸高	160,000	B事業部売上高	2,800,000
当期商品仕入高	3,900,000	C事業部売上高	2,000,000
当期製品製造原価	()	期末製品棚卸高	()
棚卸減耗損	()	期末商品棚卸高	()
棚卸資産評価損	()	投資有価証券売却益	90,000
販売費	100,000	企業結合に係る特定勘定取崩益	()
労務費	()	法人税等調整額	()
退職給付費用	()		
減価償却費	()		
のれん償却額	()		
その他経費	()		
支払利息	100,000		
減損損失	()		
事業整理損失	()		
法人税、住民税及び事業税	()		
当期純利益	()		
	()		()

問2

修正案に基づいた場合の減損損失 千円

修正案に基づいた場合のB事業部資産
の減損処理後の帳簿価額 千円

問3

(1)	(2)	(3)	(4)

問4

(5)	(6)

問5

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額

答案
用紙

税
理
士

会
計
士

第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

問1

第3四半期合併損益計算書

X20年4月1日～X20年12月31日

(単位：千円)

売上原価 ()	売上高 ()
その他費用 898,500	四半期純損失 ()
()	()

第3四半期合併貸借対照表

X20年12月31日

(単位：千円)

現金預金 606,000	諸負債 1,245,000
商品 ()	資本金 350,000
S社株式 48,000	資本剰余金 5,000
その他資産 520,000	利益剰余金 ()
()	()

問2

第3四半期連結損益計算書

X20年4月1日～X20年12月31日

(単位：千円)

売上原価 ()	売上高 ()
のれん償却額 ()	親会社株主に帰属する四半期純損失 ()
その他費用 933,500	
非支配株主に帰属する四半期純利益 ()	
()	()

第3四半期連結貸借対照表

X20年12月31日

(単位：千円)

現金預金 631,000	諸負債 1,290,000
商品 ()	資本金 ()
のれん ()	資本剰余金 ()
その他資産 ()	利益剰余金 ()
()	非支配株主持分 ()
()	()

問3

個別財務諸表 移転損益 千円

連結財務諸表 移転損益 千円

問4

個別財務諸表 子会社株式 千円

連結財務諸表 資本剰余金 千円

連結財務諸表 非支配株主持分 千円

問5

個別・連結財務諸表 移転損益 千円